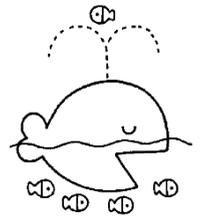


# あたらしい本

第260号 2025. 8. 15 発行 (こども版)



たくさんよんでくださいね!

「カッパおんせん、あわあわあわ」 たかぼたけ な お え かたひら なおき さく  
高島 那生/絵 片平 直樹/作

ひさかたチャイルド (えほん 幼児向き)

ぼくが湯船ゆふねにのんびりつかっていたら、お父とうさんがぐったりしたカッパかかを抱かかえて風呂場ふろばに飛び込こんできた。「頭あたまの皿さらに水みずをかけるんだ!」助けたすられたカッパは、お礼れいにと石鹼せっけんをあわ立てはじはじめ……。お風呂ふろに入りはいたくなる絵本えほん。

「くまのおやこのきょうはさかなつり」 エリン・E. ステッド/絵

ぶん みつむらきょういくとしょ  
エイミー・ヘスト/文 光村教育図書 (えほん 幼児向き)

おとうさんぐまとこぐまは、ぶかぶかのズボンをはなきます。それから長ながぐつ。さいごに、ポケットとフードがついた黄色きいろいコート。さあ、さかなつりの準備じゅんびができました……。ほんとに? 繰り返くしが心地かえよい、ユーモアあふれる絵本えほん。

「へんしんみず!」 えんどう ひろし しゃしん かわむら やすみ こうせい ぶん  
遠藤 宏/写真 川村 康文/構成・文

いわさきしょてん  
岩崎書店 (かがくすっ) (えほん 3~5歳、小初向き)

じゃぐちからながれてくる水みず、冷凍庫れいとうこにいれこると氷こおりになったよ。あたためたら、あれれ、きえちゃった? 水みずがへんかする様子ようすを写真しゃしんで紹介しょうかいします。知る楽ししさにであえる、3歳さいからのかがくえほん。

「1945年8月6日あさ8時15分、わたしは」 いわさき ちひろ/絵

どうしんしゃ  
童心社 (よみもの 小初・小中向き)

原爆げんぱくを体験たいけんした子どもたちの作文さくぶんをもとにつくられた「わたしがちいさかったときに」から生まれた本ほん。6人の子どもの作文さくぶんに、あまんきみこ、アーサー・ビナードらのことばことばや詩し、いわさきちひろの絵えを添そえる。

「先生！おかわり禁止ってへんじゃない？」 麻生 かつこ/作

イシヤマ アズサ/絵 金の星社 (よみもの 小中向き)

「わすれ物をしたら、給食のおかわり禁止」「おたんじょうび会禁止」……。学校のへんなきまりについて、学級会で話し合うことにした春斗たち。きまりをなくすことは、できるのか？

「星空とまほうの時計」 茂市 久美子/作 ゆうこ/絵 あかね書房

(山猫マルシェへようこそ 2) (よみもの 小中向き)

天空村のおばあさんの家でジャムをつくりはじめた悠一。お庭番のネコのミカンが姿を見せないの心配していると、古い時計を修理してもらいに行った時計屋敷で再会する。ミカンは時計屋敷のゆずの木のお庭番も兼任していて……。

「オーサム！国語塾」 清水 晴木/作 いつか/絵 岩崎書店

(よみもの 小中・小上・中向き)

今井先生は、オーサム国語塾の塾長。「国語の勉強をすることで、日常の中での思考力を鍛えることにもなる」と言うけれど……。？オーサム国語塾に通う小学6年生たちの心情の変化と成長を、国語の問題の解き方をヒントに描く。

「ランドリーの迷子たち」 シャネル・ミラー/作・絵 ないとう ぶみこ/訳

ほるぷ出版 (ほるぷ読み物シリーズ-セカイへの窓-) (よみもの 小上向き)

マグノリアはもうじき10歳。両親のランドリー店で、かたっぽだけのくつしたを見つけては「くつしたボード」に掲示している。ある日、引っ越してきたばかりのアイリスに出会い……。ユーモラスであたたかな、友情と希望の物語。

さかとしりつちゅうおうとしょかん  
坂戸市立中央図書館 TEL281-6369

※図書館流通センター「新刊全点案内」より引用